

## 捨てるのもったいないものを有効利用する市民の輪を拡大！

NPO 法人 住まいみまもりたい 理事長 ○吉村 悦子

### 1. 活動方針・目的

高齢化社会が進むに連れ、行政サービスや介護保険に含まれていない市民の困りごとが多様化してきていることを実感する。その1つとして、大東市では粗大ごみを外まで出さないと回収してくれない。しかし、ダンスなど高齢者の方は出せないという現実がある。そのような困りごとをコミュニティビジネスとして取り組むことで、組織の基盤をつくり若者の雇用の場を創出する。また、H18年商店街に拠点を設け、商店街の活性化のイベント事業などに取り組む。平成21年に商店街の理事長に就任、現在は副理事長として活動している。20%あった空き店舗が現在は0%になるという成果もでている。

### 2. 活動内容

- 1、不要品や粗大ごみの分別、搬出事業
- 2、「もったいない情報サロン」の運営
- 3、ワンコインサービス事業（30分500円のサービスを提供）
- 4、ニートの受入れ事業
- 5、のぎきほんわかスタジオの運営
- 6、商店街の活性化事業

### 3. 他の活動団体の参考となる事例

スタートは資金がなく、女性ばかりで始めたので、大きなダンスの運びだしなどには苦勞した。そこで、若者（男性）をスタッフに雇い入れ、若者の雇用の場を創出する。仕事量が増え、給料など支払うことができるからもう1人採用するなど、ニーズをしっかりと把握し、事業項目を増やし、誠意を持って取り組むことで組織の発展につながっている。また、地域になくてはならないNPOを目指そうとスタッフ各自が意識を持ち日々活動に取り組む。

### 4. 今後の課題等

- 1、現在は、大東市の窓口で聞いた方や、ケアマネの方からの依頼が中心である。多くの市民に知ってもらえるよう広報活動に力を入れる。
- 2、野崎には「野崎観音・堂山古墳・専応寺」など散策コースがある。今年、歴史民俗資料館がオープンし、ガイドボランティアを設置することもできた。今後は観光地として知名度を上げ、商店街活性化につながる活動を進めていく。
- 3、大東市にもたくさんのNPO、サークル、各種団体がイベントなどを行っているが連携がない。お互いの活動の情報交換や活動の拡大ができるコーディネートをし、もっと市民の力が発揮できるような仕組みをつくる。

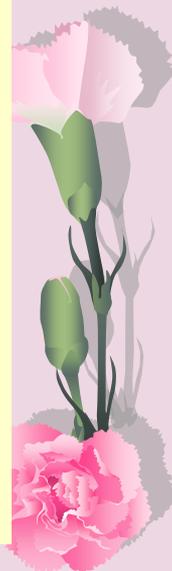
捨てるのもったいない物を有効利用する 市民の輪を拡大！

NPO法人 住まいみまもりたい  
理事長 吉村 悦子



H16年11月より行政サービス・介護保険サービスにはない 粗大ごみの搬出事業開始

- ❁ 粗大ごみを外まで出せない方
- ❁ 分別作業・袋詰めができない方
- ❁ 捨てるのにいくらかかるか
- ❁ 火事の現場
- ❁ 亡くなられ異臭がする現場
- ❁ 搬出後の掃除 リフォーム



## 搬出作業 搬出前

40年間住んだ家、老人ホームに入居・2トン車1台 30万円

分別してそれぞれの回収業者に無料で引き取りなどお願いし、大東市の行政が回収する量を減らすことで、一般企業の料金の半額ぐらいで収まるよう努力している。



## 活動内容 安心して住まいの相談ができ、信頼されるサービスを提供

- ❁ 不要品や粗大ごみの分別・搬出事業
- ❁ 「もったいない情報サロン」の運営
- ❁ ワンコインサービス事業(30分500円のサービス)
- ❁ ニートの受入れ事業
- ❁ のぎきほんわかスタジオの運営
- ❁ 商店街の活性化 事業

### もったいない情報サロンとは・・・

**みんなが集まる憩いの場所！みんなのつぶやきがビジネスになる手法！**

- ❁ 関所のような・・・なんとなく寄りたい場所、商店街の真ん中に位置することから、駅に 行く前に寄る、スーパーに行く前に寄るなど
- ❁ 買取りはしない・・・だれでもが値付けする
- ❁ 自分の店だと思っている人が多い・・・お客さんが店番をし、家賃払えてると心配してくれる



## H18年8月 全国都市再生モデル調査事業の採択を受ける



ニートの受入れ事業から正社員になったメンバー2人  
20代・30代のメンバーが地域で働く楽しさを実感し、  
日々がんばっています！（女性スタッフ2人）



### ニートの受入れ事業の成功する点

- \* いろいろな作業から自分がしたいと思うこと、できることから取り組む
- 1、現場作業・・・捨てるの物を壊していい。分解していい。ストレスの発散になる。日ごろできないことである。部屋が空っぽになる達成感  
ありがとうと言われ、社会に役立つ自分を意識する。
  - 2、検品作業・・・おもちゃなど動くか動作確認するときは、おもちゃ屋さんで遊んでいるような楽しい気持ちになる。
  - 3、サロン・・・品出しなど商品を並べたりするとき、万が一壊れても仕入れているのではないので、怒られない。また、いくら値段をつけてもいい。商品が早く回転するほうがいい。
  - 4、接客・・・おじいちゃん・おばあちゃんと話すことで、自分のことを聞いてくれる。安心してしゃべれる。毎日、おはようと挨拶し、ありがとうと感謝されることにより、自信がでてくる。
- 地域で働く、楽しさを実感する！



## H21年野崎参道商店街の理事長に就任

近畿経済産業局「地域商店街活性化事業」の採択を受け  
無料休憩所をオープンする。



イベント事業などに取り組み、マスコミにも多く取り上げてもらい、  
若者が起業し空き店舗が少なくなっていく。現在、空き店舗は0%になる。

商店街は市民のニーズが聞けるコミュニティの場！

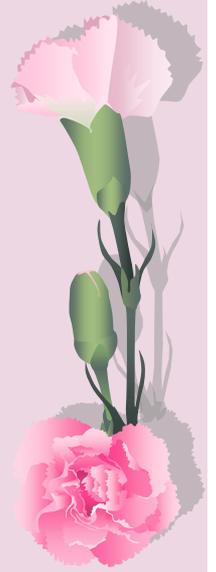


無料休憩所から のざきほんわかスタジオに発展！  
番組を作成！ 動画発信！ ワールドビジネスサテライトの  
取材を受ける。 H23年9月15日に放送！



# 「住まいみまもりたい」活動経過

- 🌸 H21年5月 野崎参道商店街理事長に就任
- 🌸 H21年7月 大東市提案公募型事業の採択
- 🌸 H21年10月 地域商店街活性化事業(近畿経済局)
- 🌸 H21年7月～H22年1月 読売新聞に4回掲載
- 🌸 H22年5月 読売新聞に掲載
- 🌸 H22年5月 大東商工会議所の会報に活動紹介が掲載
- 🌸 H22年9月 関西テレビ「となりの人間国宝」認定を受ける
- 🌸 H22年9月 大東市広報の表紙に掲載
- 🌸 H22年12月 ニュース Ten!で放送
- 🌸 H23年4月 NHKぐるっと関西おひるどきで放送
- 🌸 H23年4月 大東、四條畷ウォーカーの販売
- 🌸 H23年5月 大阪府HPクローズアップ商店街
- 🌸 H23年6月 ABC放送 NEWS ゆう+で放送
- 🌸 H23年7月 産経新聞に掲載
- 🌸 H23年8月 読売新聞に掲載
- 🌸 H23年9月 ワールドビジネスサテライトで放送
- 🌸 H24年2月 テレビ大阪 カイシャ魂で放送
- 🌸 H24年5月 朝日新聞に掲載



## 今年の取り組み

### 1、粗大ごみの搬出事業の認知度アップ

多くの市民にさせていただけるよう広報活動に力を入れる。

### 2、商店街の活性化につながる観光事業への取り組み

H24年4月に歴史民俗資料館がオープンし、ガイドボランティアを設置することができた。散策コースの充実を図り、観光地として知名度を上げ、最後商店街で食事やお買い物をしていただけるような仕組みをつくる。

### 3、各種団体、地域との連携の強化

大東市のNPO、サークル、各種団体がイベントなどを行っているが連携がない。お互いの活動の情報交換や活動の拡大ができるコーディネートをしていき、もっと市民の力が発揮できる仕組みをつくる。商店街で路上ライブや大東市企業の紹介ブースの設置を目指す。

